

令和 4年度

事務事業評価表 ( 令和 3年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 4 年 4 月 20 日

事務事業名		県営水道受水事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	050601000595
		政策体系上の位置付け			単独/補助	単独		070201
政策体系	総合計画の施策名	0506	上水道の整備				所属課	水道課
	政策名	05	快適な暮らしのまちづくり				課長名	
	施策名	06	上水道の整備				グループ	水道グループ
	手段名	01	①上水道の安定供給				担当者名	
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し ( 年度～ )	
法令根拠		水道法			期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手 段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 水道事業給水区域内の水道給水契約者に対し給水する水道水について、茨城県企業局が行う県西広域水道事業から、給水契約に基づき受水する。 市内に供給する水道水について、地下水のほか不足する水量を県企業局との給水契約に基づき受水する。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 県西水道事務所と受水水量の連絡調整

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
県西水道事務所と受水水量の連絡調整 茨城県企業局が行う県西広域水道事業から、給水契約に基づき受水する。	年間受水量	千m3	2,983.00	2,637.00	2,700.00	2,700.00	2,700.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
市民	桜川市の人口 (行政区域内人口)	人	39,122.00	38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
受水により供給量を確保する。	給水人口	人	35,910.00	35,064.00	36,000.00	36,000.00	36,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	期間限定 総投入量
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投 入 量	事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	432,186	408,897	450,000	
		事業費計 (A)	千円	432,186	408,897	450,000	
	正規職員従事人数	人	5.00人	5.00人	5.00人		

03年度事業費 実績 (千円)		04年度事業費 予算 (千円)		
15 原材料費	408,897	15 原材料費	450,000	
	合 計	408,897	合 計	450,000

事務事業名	県営水道受水事業	事務事業No.	50601000595	所属課	水道課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 水道事業の拡張に伴い不足する水源の確保について、県が行う水道用水供給事業に参画し、必要とする水道水の供給受水を開始した。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民が安心・安全な生活を営む上での基本となる上水道の安定供給に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市町村単独では、新たな水源としての水利権の取得ができない状況である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 漏水量を減らすことで県水受水量を減らすことができる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 水道水の安定供給ができなくなる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 地下水のほか不足分を補う水源としては、県からの受水しかない。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 県から受水して使用者に供給するまでの間で起こる漏水を早急に修繕し有収率を上げる。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 適当な受益者負担となっている。(平成18年度より、旧町村単位での水道料金を統一し市内同一料金としている。)

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	一日または年間の給水量については、水道使用者の状況に応じて変化しており、水道事業者から給水量を削減することはない。一方で、昨年度より漏水を修繕し県水受水量を減らすことができた。																								
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性 (複数回答可)																										
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善																									
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上					維持		○			低下		
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上																										
維持		○																								
低下																										
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 県から受水して使用者に供給するまでの間で起こる漏水を早急に修繕し有収率を上げる。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>